

「平成30年度全国学力・学習状況調査」の結果について

1 平成30年度全国学力・学習状況調査実施状況の概要

本年4月17日(火)に実施。調査の対象は、全国の小学校第6学年・義務教育学校前期課程第6学年・特別支援学校小学部第6学年、中学校第3学年・義務教育学校後期課程第3学年・中等教育学校第3学年・特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒。

○教科に関する調査として、国語、算数・数学、理科の調査を、質問紙調査として、児童生徒及び学校に対して、生活習慣や学習環境等についての調査を実施。

○本県の調査実施校は、公立小学校等796校(685校)、公立中学校等387校(332校)、合計1,183校(1,017校)。 ※()内は、千葉市を除いた数です。

※平成31年度全国学力・学習状況調査の中学校調査における英語調査の確実かつ円滑な実施に資することを目的とした英語予備調査は、本県では5月に抽出の2校で実施しました。

2 結果の概要

○教科に関する調査(平均正答数及び平均正答率)において、本県公立学校の結果は、全国平均を若干下回るものの、概ね全国平均と同程度である。このうち、中学校数学Aについては継続的に課題がみられる。児童生徒の正答数の分布状況は全国の状況とほぼ同様である。

○教科区分別調査結果(平均正答数及び平均正答率)

※平均正答数及び平均正答率の上段(白)は、千葉県(千葉市を含む)
上段(白)の()内は、千葉県(千葉市を除く)
下段(網掛け)は、全国(公立)を示す。

平成30年度

小学校	平均正答数	平均正答率(%)	中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語A(知識) <全12問>	8.4 (8.4)	70 (70)	国語A(知識) <全32問>	24.3 (24.3)	76 (76)
	8.5	70.7		24.3	76.1
国語B(活用) <全8問>	4.3 (4.3)	53 (53)	国語B(活用) <全9問>	5.5 (5.5)	61 (61)
	4.4	54.7		5.5	61.2
算数A(知識) <全14問>	8.7 (8.7)	62 (62)	数学A(知識) <全36問>	23.0 (23.0)	64 (64)
	8.9	63.5		23.8	66.1
算数B(活用) <全10問>	5.1 (5.0)	51 (50)	数学B(活用) <全14問>	6.4 (6.4)	46 (46)
	5.1	51.5		6.6	46.9
理科 <全16問>	9.8 (9.8)	61 (61)	理科 <全27問>	17.6 (17.5)	65 (65)
	9.6	60.3		17.9	66.1

※文部科学省からの発表に基づき、平成28年度からは、県の平均正答率について、小数点以下を四捨五入した結果を示す。

〈参 考〉平成29年度

小学校	平均正答数	平均正答率 (%)
国語A(知識) <全15問>	11.2 (11.2)	75 (75)
	11.2	74.8
国語B(活用) <全9問>	5.2 (5.1)	57 (57)
	5.2	57.5
算数A(知識) <全15問>	11.6 (11.6)	77 (77)
	11.8	78.6
算数B(活用) <全11問>	5.1 (5.0)	46 (46)
	5.1	45.9

中学校	平均正答数	平均正答率 (%)
国語A(知識) <全32問>	24.4 (24.3)	76 (76)
	24.8	77.4
国語B(活用) <全9問>	6.5 (6.4)	72 (72)
	6.5	72.2
数学A(知識) <全36問>	22.6 (22.4)	63 (62)
	23.3	64.6
数学B(活用) <全15問>	7.0 (7.0)	47 (46)
	7.2	48.1

※文部科学省からの発表に基づき、平成28年度からは、県の平均正答率について、小数点以下を四捨五入した結果を示す。

〈参 考〉平成27年度

※「千葉県(千葉市を除く)」データはありません。

小学校	平均正答数	平均正答率 (%)
理 科 <全24問>	14.9	61.9
	14.6	60.8

中学校	平均正答数	平均正答率 (%)
理 科 <全25問>	13.0	52.0
	13.3	53.0

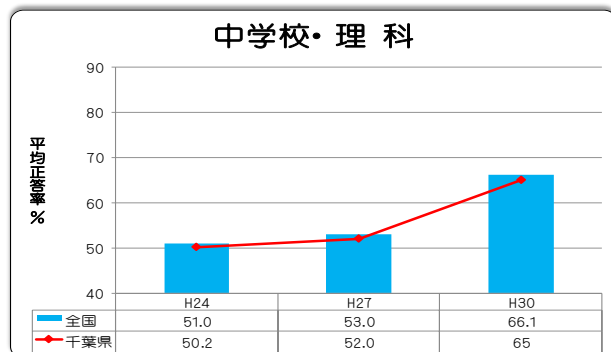
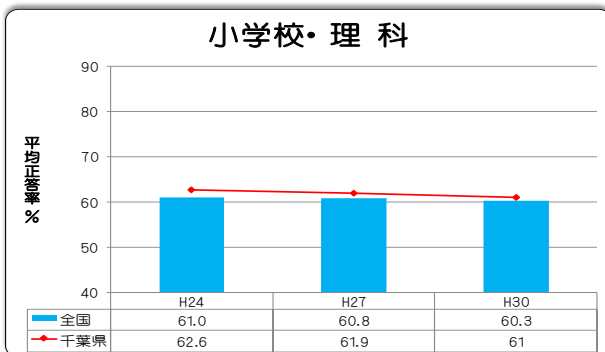
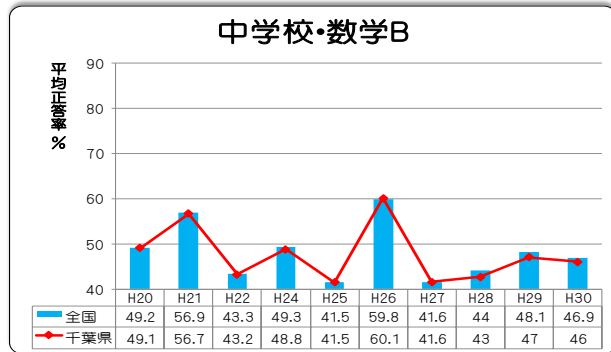
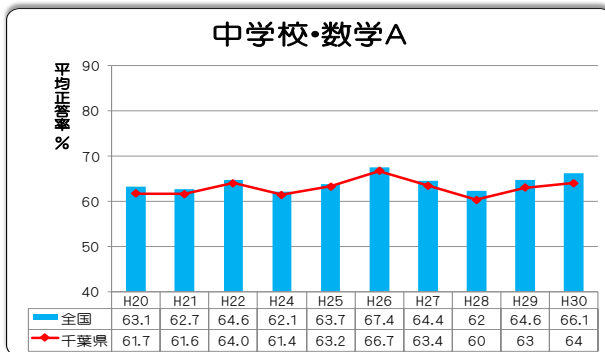
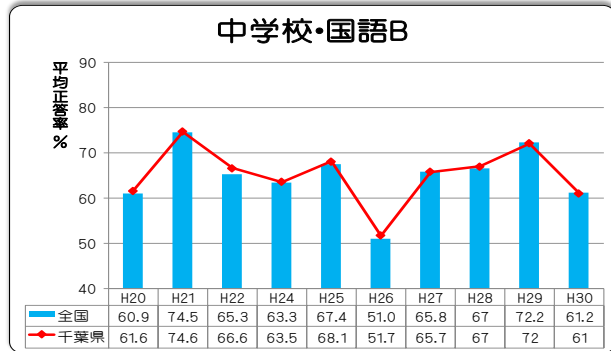
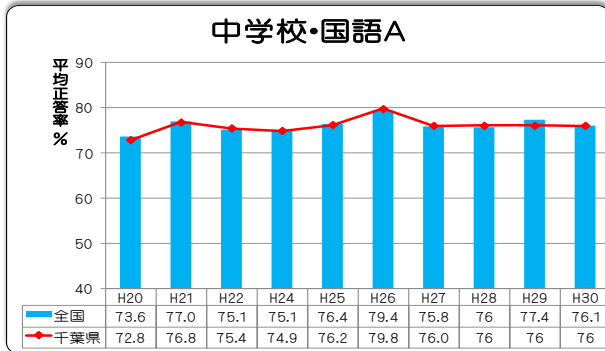
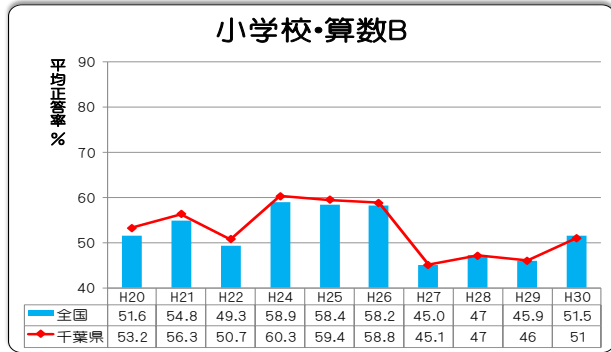
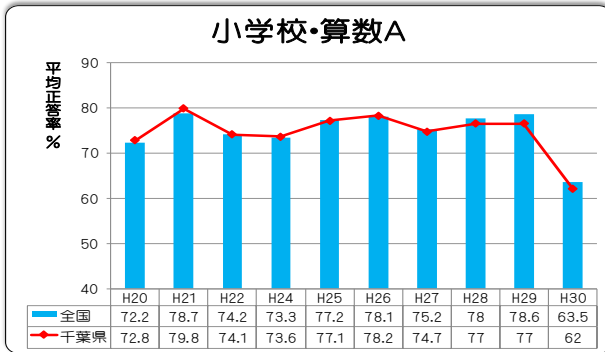
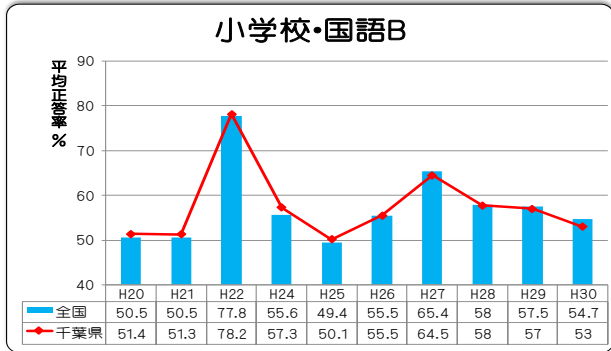
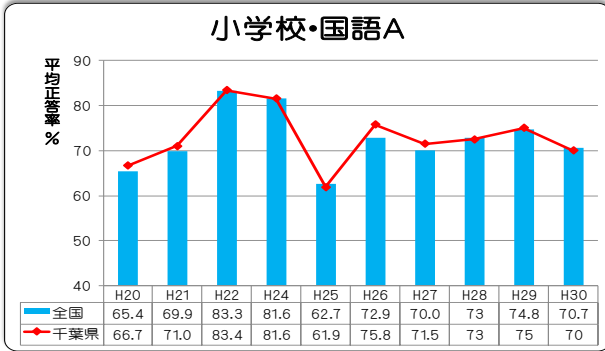
3 今後の対応の予定

- (1) 各小中学校において、今年度の調査結果を県独自の分析ツール等を用いて分析するとともに、これに基づく授業改善プランが作成、実施されるよう、市町村教育委員会及び学校に指導、助言を行う。
- (2) 「ちばっ子『学力向上』総合プラン」の一層の充実、推進に努める。
 - ・「学力・学習状況」検証事業では、検証協力校において、算数・数学における知識及び技能の習得など当該調査結果の課題を明確にした検証改善サイクルを確立させる。また、検証改善サイクルの好事例等を「学力向上交流会」などで紹介し、全県への普及を図る。
 - ・「ちばっ子の学び変革」推進事業では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をより一層推進する。また、好事例の普及に努め、教員の指導力の向上を図る。
 - ・「学習サポーター」派遣事業では、算数・数学の知識及び技能の習得など、派遣校の課題解決に向けた活用を推進する。
 - ・「ちばっ子チャレンジ100(小学校)」「ちばのやる気学習ガイド(中学校)」では、当該調査結果を踏まえ、課題となる問題を提供するなど、各校種の知識及び技能の習得を図る。
- (3) 調査結果の概要をリーフレットにまとめ、各学校や市町村教育委員会に配付するとともに、「学力向上交流会」で分析結果、授業改善の仕方や保護者へのPR方法等について周知する。

平均正答率の推移

※数値の単位は全て%である。

※24年度は抽出調査のため、平均正答率については誤差も含めた数値の幅「平均正答率の95%信頼区間」の中央値で示している。



(注) H23は、東日本大震災の影響のため実施せず。また、理科は、3年に一度の実施である。

児童・生徒と学校の質問紙調査 結果

算数・数学関心等

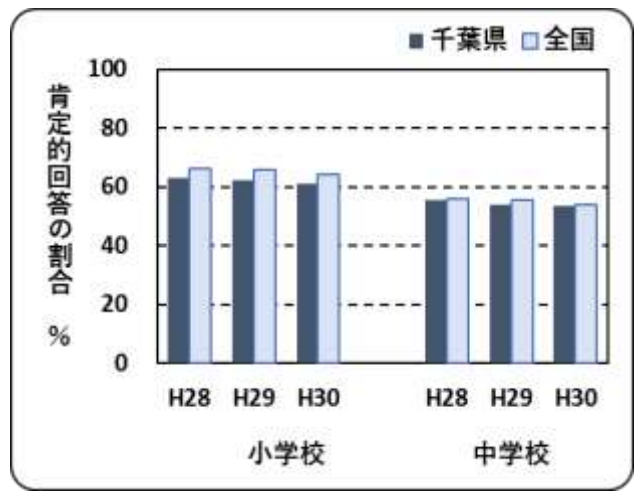
小	中	算数（数学）の勉強は好きだ
27	27	

◇肯定的回答の割合は、児童は全国と比べてやや低く、生徒は全国と同程度である。

【平成30年度調査結果】



【経年変化】

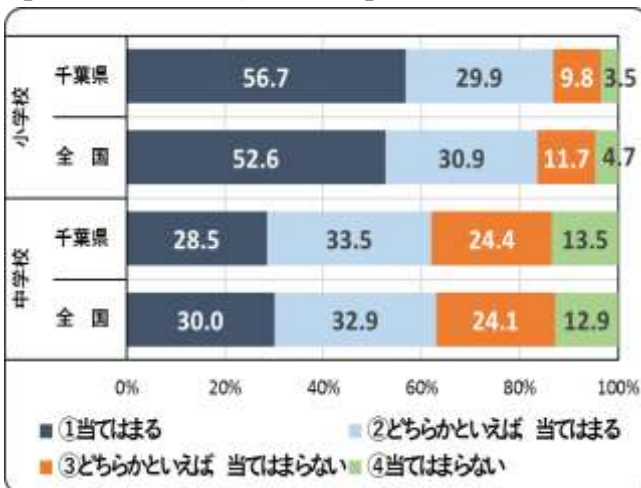


理科への関心等

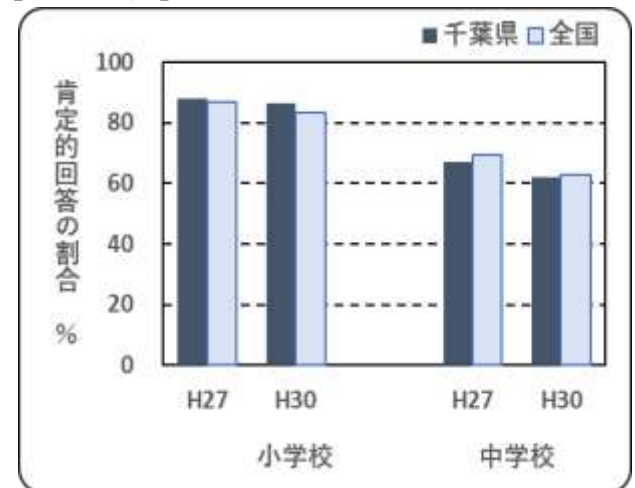
小	中	理科の勉強は好きだ
38	38	

◇肯定的回答の割合は、児童が全国と比べてやや高く、生徒は同程度である。

【平成30年度調査結果】



【経年変化】

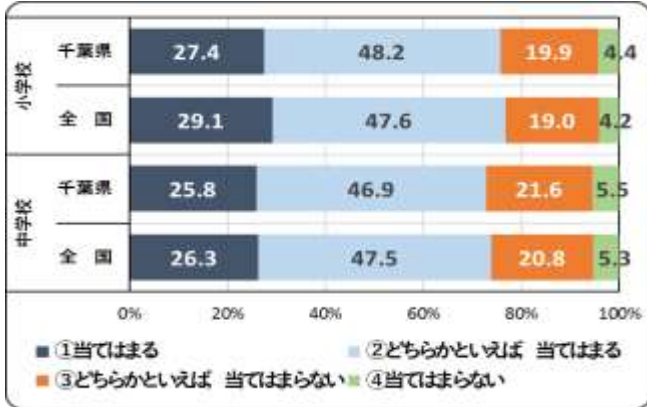


主体的・対話的で深い学びの充実

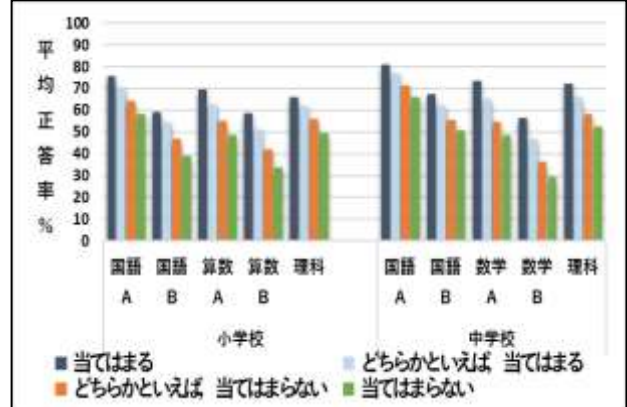
小 55	中 52	あなたが受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、児童生徒とも全国と比べてやや低い。肯定的回答をした児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられる。

【平成30年度調査結果】



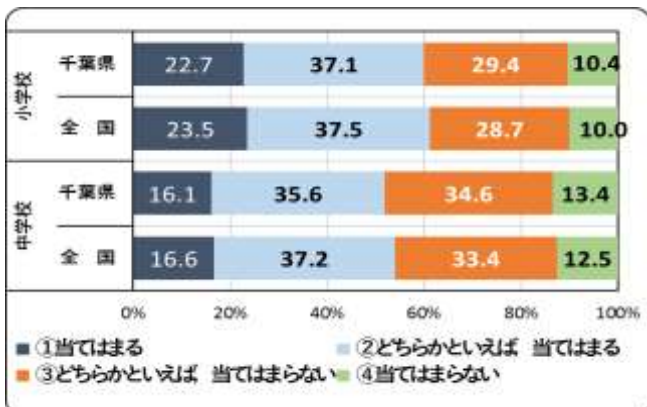
【回答結果と正答率の関連】



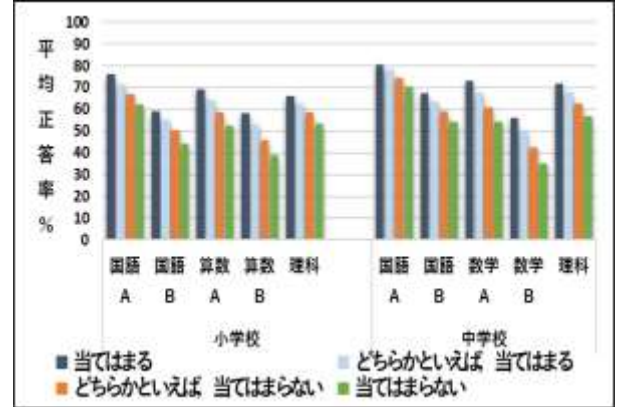
小 56	中 53	あなたが受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、児童生徒とも全国と比べてやや低い。肯定的回答をした児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられる。

【平成30年度調査結果】



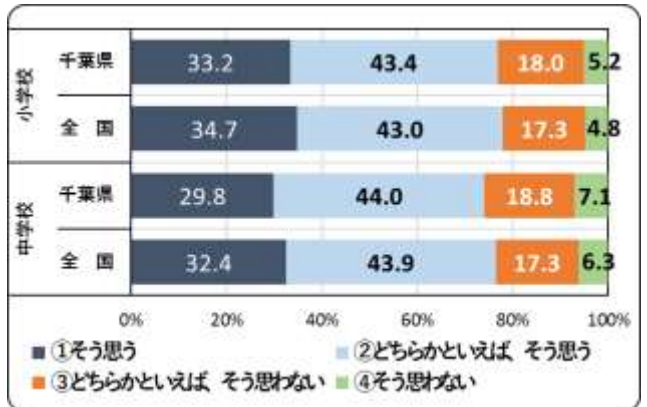
【回答結果と正答率の関連】



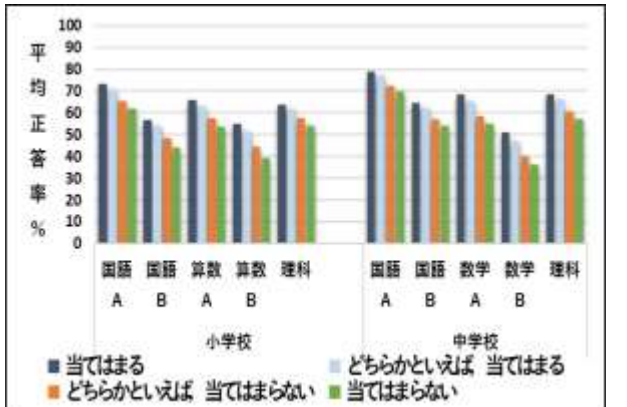
小 57	中 54	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
---------	---------	--

◇肯定的回答の割合は、児童生徒とも全国と比べてやや低い。肯定的回答をした児童生徒ほど正答率が高い傾向がみられる。

【平成30年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



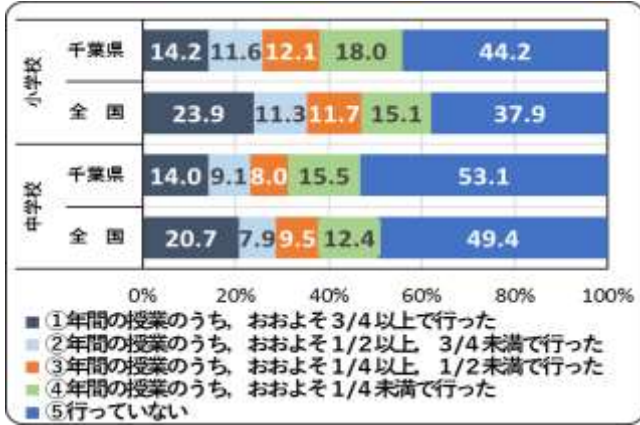
個に応じた指導

※本領域における「肯定的回答」とは、年間の授業のうち、おおよそ「3/4以上」、「1/2以上、3/4未満」で行ったと回答した割合の合計である。

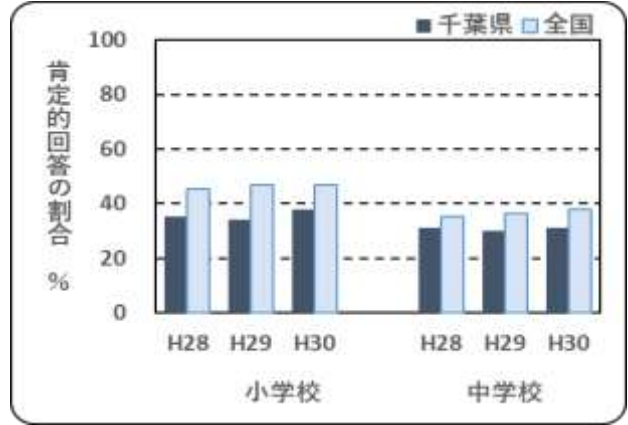
小	中	調査対象学年の児童・生徒に対する算数・数学の指導方法として、前年度に、 習熟の遅いグループ に対して少人数による指導を行い、習得できるようにした
35	34	

◇肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べて低い。

【平成30年度調査結果】



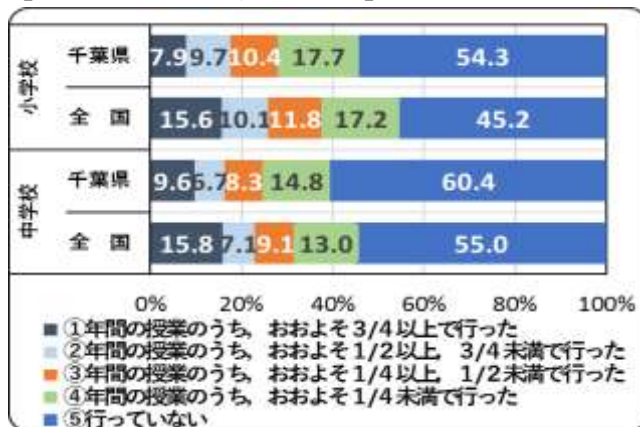
【経年変化】



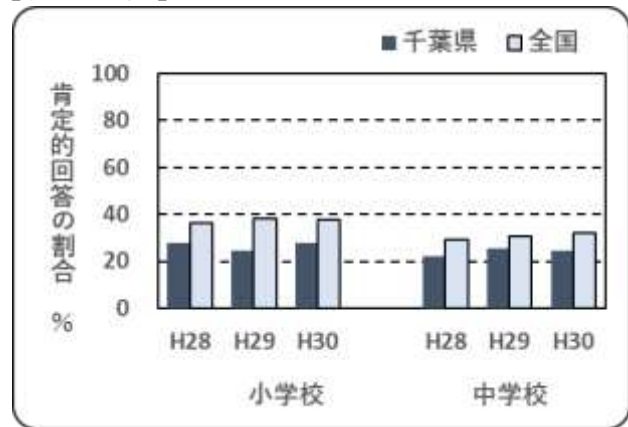
小	中	調査対象学年の児童・生徒に対する算数・数学の指導方法として、前年度に、 習熟の早いグループ に対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った
36	35	

◇肯定的回答の割合は、小中学校とも全国と比べて低い。

【平成30年度調査結果】



【経年変化】

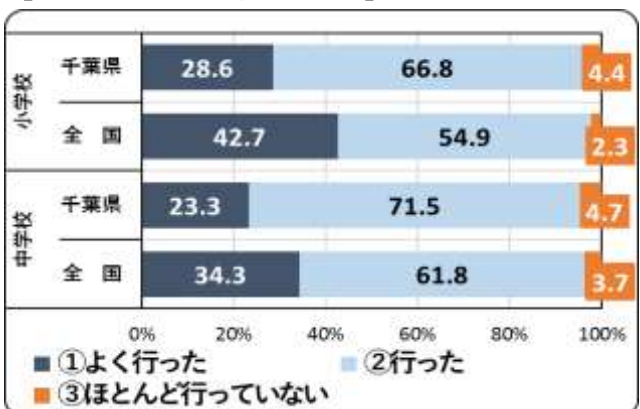


全国学力・学習状況調査の活用

小	中	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・ 教科 だけではなく、 学校全体 で教育活動を改善するために活用しましたか
31	30	

◇肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べてやや低い。ほとんど行っていないと回答した学校ほど正答率が低い傾向がみられる。

【平成30年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

